

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年11月16日(2006.11.16)

【公開番号】特開2004-107355(P2004-107355A)

【公開日】平成16年4月8日(2004.4.8)

【年通号数】公開・登録公報2004-014

【出願番号】特願2003-418678(P2003-418678)

【国際特許分類】

<b>A 6 1 K</b>	<b>8/02</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>A 6 1 K</b>	<b>8/06</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>A 6 1 K</b>	<b>8/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>A 6 1 Q</b>	<b>1/02</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>A 6 1 Q</b>	<b>1/04</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

<b>A 6 1 K</b>	<b>7/00</b>	<b>L</b>
<b>A 6 1 K</b>	<b>7/00</b>	<b>N</b>
<b>A 6 1 K</b>	<b>7/021</b>	
<b>A 6 1 K</b>	<b>7/025</b>	

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月3日(2006.10.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

(b)成分の融点が70～85、(c)成分のポリエチレンワックスの融点が80～105、セレシンの融点が70～80、(d)成分の水酸基価が50～185、(e)成分の粘度が10～180(mPa·s、25)である請求項1に記載の油性固形化粧料。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

(c)成分のセレシンは、融点が70～80であるものが好ましい。セレシンSP1020(伊那貿易商会)、セレシンB(日興リカ(株))があげられる。

(c)成分のポリエチレンワックスは、融点が85～105のものがより好ましい。ポリワックス500(東洋ペトロライト)、ポリワックス655(東洋ペトロライト)、ポリワックス725(東洋ペトロライト)が挙げられる。